

フシックカップカニュース Vol.79 2017.4.24



「眩暈(めまい)」は…」「げんうん」とも読めるんです��

今回のフジタガンカニュースも、前回号に引き続き『眩暈(めまい)』についての解説で、入野医院さ

1.忍者屋敷

目がめまいの原因となりうるかを考える時に一番判り易いたとえが「忍者屋敷」です。「忍者屋敷」とは、忍者 がいろいろと工夫を凝らした手裏剣や水上歩行器具などの小道具類を 展示したミニ博物館のようなもので、三重県の伊賀、滋賀県の甲賀にあ ります。 見物者の多くは、ホーホー、なるほど、といった按配で小一時 間楽しみますが、なかには見物中に「めまい」や頭痛を感じ、それに我慢 できずに退出される方がいます。何故でしょうか?そこには、小道具以 外に天井や敷居にやや大がかりな仕掛けがされているからです。具体 的には、天井や柱、梁とのバランスがちょっと見には気が付かない程度 に歪められています。私が友人と訪れた時に、その友人が強いめまい を訴えました。「一寸、目を閉じてみては・・・」と助言しましたところ約 10 分ほどしてめまいは消失しました。似たようなことは、忍者屋敷を訪れ た方なら経験されているでしょう。目から入る情報がめまいの原因ある いは誘因となっているひとつの証拠だと言えましょう。



2.阪神淡路大震災

忍者屋敷と同じような現象は、阪神淡路大震災の後でも生じています。半壊になった家屋に入った被災者の 方の多くは、約2、30分後に、グラグラするめまいを感じて吐気を催しています。震災にともなった恐怖の記憶か らくる心的外傷が誘発されたためとも解釈できますが、忍者屋敷の場合と同様に、閉眼することにより症状が軽 快することが多く、やはり、「目からのめまい」のひとつと考えられます。勿論、この場合には、自分自身が立って いる家屋の床の歪みや傾きも体の平衡機能障害を生じて、目以外に全身が関係していることは無視できません

地震被害の取材のために神戸を訪れたマスコミ人たちも同様の経験をしています。あるマスコミ人が当院を訪れ た際、「あのときは余震かと思いましたが、神戸市街地のビルが色々な角度で歪んだり倒れかかっていたから、

視覚異常がめまいの原因のように考えられますね」と話し合ったことを懐かしく思い出します。 治療を始めても なかなかめまいが治らなかったひとりの女性患者がいました。身の回りに何か体のバランスを障害している原因 があるはずだ、といろいろと相談した結果、一緒に来られたご主人が、ご自宅のリビングの床で、ゴルフボール が勝手に転がることがあると言われました。忍者屋敷と同じような理屈で、部屋に歪みがあることに気付かれ、 その修理をしてからめまいは治っています。滅多にないことでしょうが、こんなこともめまいを治す上で考える必 要があります。



今月のフジタガンカニュースはここまでです。今年の花粉症もおおよそ収束してきたようですね。やれや れ、ひと安心です。さて、今後のフジタガンカニュースの内容ですが・・・予定ではあと2回で「めまい」の 解説は終了の予定です。その後は「糖尿病と眼科」についての解説を予定しております。糖尿病があ ると目が悪くなることがあるのですが、色々な誤解も多いようです。病初期には「視力低下の自覚症

H29年夏期休診日程

8/10~17 8/18 ΔM ○・・・通常診療

状が無い」事、レーザーなどの高額な治療 が「進行予防」に過ぎないことなど…理解 が難しいですよね?可能な限りわかりやすく 説明する予定ですので、ご興味のある方は 是非参考にして頂きたく思います。

今月のお知らせ

OR J-F ORJ-K http://www.fujita-ganka.com

少し気が早いかもしれませんが、例年問 い合わせが多いため「今年の夏休みの日 程」を掲載します。ご迷惑をお掛け致し ますがご理解の程お願い致しまm()m。

(1) 042 (645)0575 () **NUZ** (642)**2911**